

ゆで卵の殻のむきかた

昨年、仕事で同じ取引先へ直行する日が続き、毎朝最寄り駅のコーヒーショップでモーニングを食べた時に、付いていたゆで卵の殻をむくのに苦戦してしまいました。

以前、知人から教えて貰ったのは卵全体に細かいひび割れを作ってから殻をむく方法。うまくいく時もあるのですが、殻と白身の密着度が強い時は白身もむけてしまって、黄身が姿を現すと、がっかりしてしまうと同時に自分の不器用さに落ち込んでしまいます。

これではいけない、他に良い

方法はないか(少し大袈裟)と色々調べましたところ、高い確率で綺麗に早くむける方法がありましたので、紹介させていただきます。

①ゆで卵のとがっていない方の殻を少し広めにむく(一緒に白身もむいてしまわない様、ここだけは慎重に(笑))。

②とがっている方の殻を少しだけむく。

③とがっている方から息を吹き込む(むいた箇所を口で塞いで、息を吹き込む事がコツ)。

息を吹き込むことによって、空気が白身と殻の間に入り込むので、さっとむける様です。

①



②



ヨシナカ新聞

3月号

発行所

栃北陸ヨシナカ

東京営業所

TEL:03-3555-0796

ステンレス豆知識

熱間圧延と冷間圧延

圧延は金属の加工方法の一つで、複数のロール(ローラー)を回転させ、その間に金属を通すことによって、材料に大きな力を加えて加工する、塑性加工の一種です。

熱間圧延は、(金属のインゴット(塊))を、鉄の場合1000℃ぐらいの高温から冷ましながら伸ばしていきます。通常、熱間圧延は、冷間圧延の後に行われることはありません。

冷間圧延は金属の再結晶温度以下で圧延します。冷間圧延を行うことにより、加工硬化による強さの向上や、良好な表面が得られるなどのメリットがあります。冷間圧延鋼板は熱間圧延鋼板と比較して、板厚は薄く、寸法精度が高く、表面性状及び成形性に優れています。

牛久大仏

茨城県牛久(うしく)市に日本一高い大仏があると知り、東大寺の大仏がある奈良県出身の私は興味津々に現地に行ってきた。



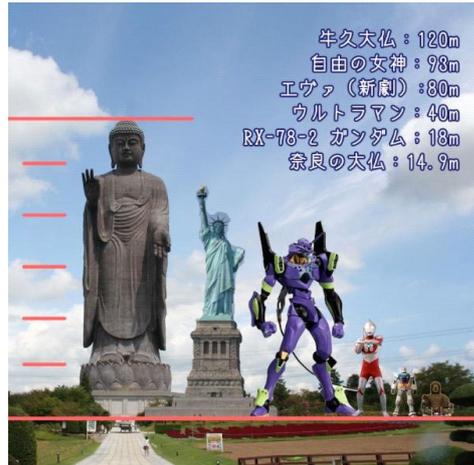
牛久大仏は、浄土真宗東本願寺派本山東本願寺によって造られたブロンズ製で、全高が120m(台座20M含む)あり、鎌倉の大仏を縦に9体重ねた

高さは世界で3番目ですが、ブロンズ像としては世界最大なのだそうです。(Wikipediaより)。

この牛久大仏の高さ、東京タワー(333m)やスカイツリー(634m)に比べると大した事はないのですが、立像としてはびっくりする程大きいなど実物を目の前にして感じました。で、個人的に気になるのが他との比較。ウェブサイトにはわかりやすい画像がありましたので掲載させて頂きました。こうして見ると牛久大仏はやはり大きくて、ウルトラマンが子供に見えてしまいます。

最後に、『大仏』の定義を調べましたところ、広辞苑では「丈六(1丈6

尺=約4.85m)以上の大きな仏像」と定義していますが、それより小さくても『大仏』と称するものもあるそうです。つまり「大きな仏」が大仏という事なのでしょうね(笑)。



牛久大仏：120m
自由の女神：93m
エヴァ(新劇)：80m
ウルトラマン：40m
RX-78-2 ガンダム：18m
奈良の大仏：14.9m

R社員のフルート奮戦記

ロングトーン

音が出なくても息を出し続けるようにとの先生の指導のもと、肺から絞り出すように息を出すのですが、本当に苦しくて、たまにうめき声が出てしまいます。というか、このうめき声を聞いたら、S先生も考え直して下さると思つてわざと出したのですが、さすが先生、それは読めているらしく、「この練習は効果がありますから頑張りましょう」とニコニコしながら仰います。

そういえば、私をフルートに誘い込んだYさんが前任のT先生の時に、ロングトーンのレッスンで、あまりの苦しさに、「死にます」と訴えたところ、「死に・ま・せ・ん」と返されたT先生の言い方があまりにも憎たらしかったので、「死・に・ま・す」と言い返したところ、もっと嫌みな言い方で「死・に・ま・せ・ん」と返されたので、その後は、「死にます」「死にません」の壮絶な言い合いが続いたという話をYさんから聞きましたのですが、今こうして同じ練習をしていると、Yさんの苦しさが身に染みてわかるのでした。